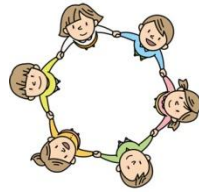


# 心の輪31R



『**りんごの何を食べるのか**』という資料を通して、  
『**真の豊かさ・ぜいたく**』について考えました！

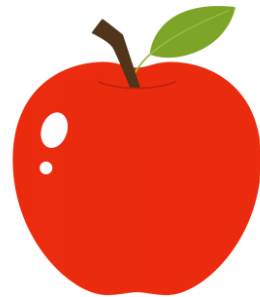


外でごはんを食べると美味しく感じるのはなぜだろう？



誰かと一緒にごはんを食べると美味しく感じるのはなぜだろう？

「豊かさ」とは何だろうか？「ぜいたく」とは何だろうか？ガツガツたくさん食べることが「豊かさ」や「ぜいたく」であろうか？話の中で筆者は、『食べる量、使う量、その物量の多寡だけで、ぜいたくさや豊かさが決まるわけではない』と述べている。りんご一つでも、それを食べる時、我々はその味以外に何を味わっているのだろうか？



**いやしいぜいたくもあるし、  
美しいぜいたくもある。  
冷たいケチもあるし、温かい  
儉約もある。**

高価であったりすることが「ぜいたく」というイメージの人が多かったけど、資料に出ていたように、ただ動作をするだけではなく、しっかり考えながら行ったり、他の人にとっては何ともないことでも、自分にとってはすごく嬉しかったり、楽しかったりすることが「ぜいたく」だと思った。

私は教科書・ビデオを見ていて、自分は「ぜいたく」をしていると思った。それに、みんなの「豊か」「ぜいたく」と思う基準は違った。自分と人との違いや考え方を聞くのは楽しかった。

これまでは、「ぜいたく」とは、たくさんお金があることだと思っていたけど、今回の授業を通して、「ぜいたく」や「豊かさ」は、自分の考え方の問題なのだと感じました。

この道徳を受けて、「ぜいたく」に対する考え方が少し変わりました。「ぜいたく」とは、分かりやすくお金や物が豊かにあることだけでなく、物事に対して様々な思いを巡らせることができることも指すのだと思いました。

お金が無い人が貧しいのではなく、多くのものを欲している貪欲な人こそが貧しい人だと知った。少しのものでも満足できる人だっているという事実は、本当に重要なことだと思った。

「ぜいたく」とは、ただ楽しむだけではなく、感謝の気持ちや思いを大切に使用してこそのものだと思いました。

「ぜいたく」や「豊かな生活・生き方」を考えてみて、自分は結構、ぜいたくをしていると思いました。人によって、「豊か」という表現が違うということが分かりました。



「貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、かぎりなく多くを必要とし、もっともっとほしがることである」  
このことばは、人間にとって何が大切かを教えています。  
[世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ]20頁

**ウルグアイ第40代大統領 ホセ・ムヒカ**